

平成24(2012)年度

入 学 者 選 拔 要 項



県立広島大学

目 次

1	入学試験日程	1
2	入学定員及び募集人員	1
3	一般選抜	2
	(1) 出願資格	2
	(2) 大学入試センター試験の利用教科・科目	2
	(3) 募集方法	2
	(4) 個別学力検査等（日程、試験場、試験教科・科目等の内容及び採点・評価の基準）	2
	(5) 選抜方法	4
	(6) 合否判定基準	4
4	特別選抜	5
	(1) 推薦入試	5
	(2) 社会人特別選抜	5
	(3) 帰国生徒特別選抜	5
	(4) 外国人留学生特別選抜	5
	(5) 合格しなかった者の取扱い	5
5	第3年次編入学	5
6	身体障害者等の受験特別措置	5
7	入試情報（成績）の開示	5
8	学生募集要項及び大学案内等の請求方法	6
	(1) 配布日程（予定）	6
	(2) 請求方法	6
9	アドミッション・ポリシー（求める学生像）	9

【別表】

別表1	平成24年度県立広島大学入学者選抜方法等（一般選抜等）	22
別表2	平成24年度県立広島大学入学者選抜方法等（特別選抜）	24
別表3	平成24年度県立広島大学入学者選抜の実施教科・科目等について	25
別表4	平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）	29
別表5	平成24年度特別選抜方法等（社会人特別選抜）	37
別表6	平成24年度特別選抜方法等（帰国生徒特別選抜）	39
別表7	平成24年度特別選抜方法等（外国人留学生特別選抜）	40
別表8	平成24年度第3年次編入学	42

【参考】

平成23年度入学者選抜結果	43
平成23年度一般選抜 合格者得点状況	45
各キャンパス案内図	46

1 入学試験日程

選抜区分	日程	出願期間	選抜期日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	平成24年1月23日(月) ～2月1日(水)	平成24年 2月25日(土)	平成24年 3月7日(水)	平成24年3月8日(木) ～3月15日(木)
	後期日程		平成24年 3月12日(月)	平成24年 3月20日(火)	平成24年3月21日(水) ～3月27日(火)
推薦入試		平成23年11月1日(火) ～11月8日(火)	平成23年 11月22日(火)	平成23年 12月6日(火) ただし、健康科学 科は、平成24年 2月6日(月)	平成23年12月7日(水) ～12月15日(木) ただし、健康科学科は、 平成24年2月8日(水) ～2月15日(水)
社会人特別選抜		平成23年8月12日(金) ～8月18日(木)	平成23年 8月29日(月)	平成23年 9月9日(金)	平成23年9月12日(月) ～9月26日(月)
第3年次編入学					
帰国生徒特別選抜		平成24年1月4日(水) ～1月11日(水)	平成24年 1月20日(金)	平成24年 1月31日(火)	平成24年2月8日(水) ～2月15日(水)
外国人留学生特別選抜					

2 入学定員及び募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員の内訳							
			一般選抜		特別選抜					
			前期日程	後期日程	推薦入試			社会人特別選抜	帰国生徒特別選抜	外国人留学生特別選抜
県内高等学校等	県内専門高等学校等	全国高等学校等								
人間文化学部	国際文化学科	85人	55人	15人	15人	—	—	—	若干名	若干名
	健康科学科	35人	21人	5人	7人	2人	—	—	—	若干名
経営情報学部	経営学科	60人	30人	9人	14人	2人	5人	若干名	—	若干名
	経営情報科学科	40人	20人	6人	9人	2人	3人	若干名	—	若干名
生命環境学部	生命科学科	110人	50人	16人	20人	4人	20人	若干名	若干名	若干名
	環境科学科	55人	25人	8人	10人	3人	9人	若干名	若干名	若干名
保健福祉学部	看護学科	60人	31人	10人	18人	1人	—	若干名	—	—
	理学療法学科	30人	15人	6人	9人	—	—	若干名	—	—
	作業療法学科	30人	15人	6人	9人	—	—	若干名	—	—
	コミュニケーション障害学科	30人	15人	6人	7人	—	2人	若干名	—	—
	人間福祉科学科	40人	21人	7人	11人	1人	—	—	—	若干名
合計		575人	298人	94人	129人	15人	39人	—	—	—

(注) 1 特別選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜前期日程の募集人員に含まれます。

2 上記のほか、保健福祉学部看護学科では、平成24年度第3年次編入学学生(入学定員5人)の募集を行います。

3 保健福祉学部看護学科の保健師の課程は選択制になります。

3 一般選抜

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、志望する学部・学科ごとに本学が指定した教科・科目を受験した者としてします。

- ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又は平成24年3月31日までにこれを卒業する見込みである者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成24年3月31日までにこれを修了する見込みである者
- ウ 学校教育法施行規則第150条の規定(注)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成24年3月31日までにこれに該当する見込みである者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号(大学による個別の入学資格審査)による出願を希望する者は、平成23年9月2日(金)までに県立広島大学本部教学課入試担当(電話番号(082)251-9540)まで連絡してください。

(2) 大学入試センター試験の利用教科・科目

別表3(25～28ページ)の【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄を参照してください。
 なお、本学は、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

「地理歴史」「公民」及び「理科」において、2科目を受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点をそれぞれの教科の得点として採用します。

(3) 募集方法

本学は、各学部とも分離・分割方式の「前期日程」及び「後期日程」に分けて募集し、日程ごとに合格者を決定します。

(4) 個別学力検査等

ア 日程

区 分	前 期 日 程	後 期 日 程
出 願 期 間	平成24年1月23日(月)～2月1日(水)	
選 抜 期 日	平成24年2月25日(土)	平成24年3月12日(月)
合 格 発 表 日	平成24年3月7日(水)	平成24年3月20日(火)
入 学 手 続 期 間	平成24年3月8日(木)～ 3月15日(木)	平成24年3月21日(水)～ 3月27日(火)

イ 試験場

学 部	試 験 場
人 間 文 化 学 部 経 営 情 報 学 部	県立広島大学広島キャンパス
生 命 環 境 学 部	県立広島大学庄原キャンパス 広島市試験場(場所は学生募集要項で指定します。)
保 健 福 祉 学 部	県立広島大学三原キャンパス

(注) 志願状況により、試験場が変更となる場合があります。

ウ 試験教科・科目等の内容及び採点・評価の基準

学 部	学 科	日 程	試 験 教 科 ・ 科 目 等 の 内 容 及 び 採 点 ・ 評 価 の 基 準	
人 間 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	前 期	国 語	「国語総合・現代文・古典」の範囲から出題し、点数化して評価します。
			外 国 語	「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。
		後 期	小 論 文	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。

(試験教科・科目等の内容及び採点・評価の基準の続き)

人間文化学部	健康科学科	前期	理科	「化学Ⅰ及び生物Ⅰ」の範囲から出題し、点数化して評価します。
			小論文	論文や評論・図表等を題材として、健康科学科で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力などをみるための設問を行い、点数化して評価します。
		後期	面接	健康科学に対する興味・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科(生物Ⅰ又は化学Ⅰのいずれかを選択)に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
経営情報学部	経営学科	前期	国語	「国語総合・現代文・古典」の範囲から出題し、点数化して評価します。
			外国語	「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。
	後期	外国語	「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。	
	経営情報学科	前期	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)」の範囲から出題し、点数化して評価します。
外国語			「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。	
		後期	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)」の範囲から出題し、点数化して評価します。
生命環境学部	生命科学科	前期後期	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)」の範囲から出題し、点数化して評価します。
			理科	「物理(Ⅰ・Ⅱ)、化学(Ⅰ・Ⅱ)、生物(Ⅰ・Ⅱ)」の範囲から1科目を選択して解答することとし、点数化して評価します。
			外国語	「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。
	環境科学科	前期後期	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)」の範囲から出題し、点数化して評価します。
			理科	「物理(Ⅰ・Ⅱ)、化学(Ⅰ・Ⅱ)、生物(Ⅰ・Ⅱ)」の範囲から1科目を選択して解答することとし、点数化して評価します。
			外国語	「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。
保健福祉学部	看護学科	前期後期	面接	保健・医療・福祉を担う人材としての探求心、思考力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	理学療法学科	前期後期	面接	本学で学ぶことへの意欲・志向などについて質問し、判断力や表現力、積極性、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	作業療法学科	前期後期	面接	保健・医療・福祉に関わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	コミュニケーション障害学科	前期	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
面接			勉学に対する意欲や堅実性などについて質問し、理解力、判断力、表現力及び対応の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
後期		面接	勉学に対する意欲や堅実性などについて質問し、理解力、判断力、表現力及び対応の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。	

(試験教科・科目等の内容及び採点・評価の基準の続き)

保健福祉学部	人間福祉学科	前期後期	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
			面接	福祉に対する興味、学習意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

(注) 生命環境学部における理科(物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ)の出題範囲については次のとおりとします。

- 1 「物理Ⅱ」における「物質と原子」、「原子と原子核」の内容を主として含む出題の場合は、選択問題とします。
- 2 「化学Ⅱ」における「生活と物質」、「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は、選択問題とします。
- 3 「生物Ⅱ」における「生物の分類と進化」、「生物の集団」の内容を主として含む出題の場合は、選択問題とします。

(5) 選抜方法

入学者の選抜は、平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の結果を総合して行います。

(6) 合否判定基準

学部	学 科	日程	合否判定基準
人間文化学部	国際文化学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査等の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	健康科学科	前期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、個別学力検査(理科と小論文の合計)、大学入試センター試験の理科の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
		後期	大学入試センター試験の得点と、面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、大学入試センター試験の理科、面接の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
経営情報学部	経営学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	経営情報学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
生命環境学部	生命科学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	環境科学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
保健福祉学部	看護学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入試センター試験の外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
	理学療法学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入試センター試験の外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
	作業療法学科	前期後期	大学入試センター試験の得点と、面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入試センター試験の国語、数学、外国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

(合否判定基準の続き)

保健福祉学部	コミュニケーション障害学科	前期	大学入試センター試験の得点と、小論文及び面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、小論文、大学入試センター試験の外国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
		後期	大学入試センター試験の得点と、面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、大学入試センター試験の得点が高い順に合格とします。
	人間福祉学科	前期 後期	大学入試センター試験の得点と、小論文及び面接の得点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点が高い順に合格とします。

4 特別選抜

(1) 推薦入試

別表 4(29～36 ページ)を参照してください。

(2) 社会人特別選抜

別表 5(37～38 ページ)を参照してください。

(3) 帰国生徒特別選抜

別表 6(39 ページ)を参照してください。

(4) 外国人留学生特別選抜

別表 7(40～41 ページ)を参照してください。

(5) 合格しなかった者の取扱い

特別選抜に合格しなかった者は、所定の手続をすることにより、本学の一般選抜試験に出願できます。この場合、志望する学部・学科ごとに本学が指定する平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験の教科・科目を受験する必要があります。

5 第 3 年次編入学

看護師の国家試験受験資格が取得できる短期大学・専修学校の当該学科を卒業した者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれらを卒業する見込みである者を対象に選抜します。(詳細は別表 8(42 ページ)を参照してください。)

6 身体障害者等の受験特別措置

身体に障害のある入学志願者等で、受験上特別な措置又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前に相談してください。詳細については、各選抜試験の学生募集要項を参照してください。

7 入試情報(成績)の開示

本学では、入試情報(成績)の開示を行っています。詳細については、各選抜試験の学生募集要項を参照してください。

8 学生募集要項及び大学案内等の請求方法

(1) 配布日程(予定)

学生募集要項及び大学案内等は、次の日程により配布します。

資 料	配布開始時期
大 学 案 内	配布中
学 部 ・ 学 科 案 内	6月下旬から配布開始(予定)
社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 要 項	6月上旬から配布開始(予定)
第 3 年 次 編 入 学 生 募 集 要 項	6月上旬から配布開始(予定)
推 薦 入 試 学 生 募 集 要 項	8月下旬から配布開始(予定)
一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項	10月下旬から配布開始(予定)
帰 国 生 徒 特 別 選 抜 学 生 募 集 要 項	11月上旬から配布開始(予定)
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 学 生 募 集 要 項	11月上旬から配布開始(予定)

(2) 請求方法


学生募集要項等については、次のア～オのうち、いずれかの方法により請求してください。

ア 本学ホームページから請求する方法

本学のホームページから  テレメール又は  を利用して学生募集要項及び大学案内等の資料が請求できます。

詳しくは、本学ホームページ(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>)の入試情報のページを参照ください。

イ テレメールからインターネット(パソコン・携帯電話)又は自動音声応答電話で請求する方法

(ア) 次のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット(携帯電話・パソコン)の場合	自動音声応答電話の場合	
<p>http://telemail.jp 携帯電話(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)、 パソコンとも共通アドレスです。</p> 	<p>I P 電 話 ※</p>	<p>(050) 8601-0101</p>

※ I P 電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分ごとに約11円です。

(イ) 請求を希望する資料請求番号をプッシュ又は入力してください。その後はガイダンスに従ってください。

資 料	資料請求番号	備 考
大 学 案 内	569132	
学 部 ・ 学 科 案 内	569112	配布開始前に請求された場合は 予約として受け付けます。
入 学 者 選 抜 要 項	589132	〃
入 学 者 選 抜 要 項 と 大 学 案 内	569102	〃
一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項	589102	〃
一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項 と 大 学 案 内	549202	〃
推 薦 入 試 学 生 募 集 要 項	589112	〃

《注意事項》

随時発送中の表示があるものは、受付から2～3日程度で送付されます。ただし、発送開始日までの請求は予約受付となり、発送開始日となった段階で一斉に郵送されます。その際は発送開始日から2～3日程度で資料が届きます。なお、発送開始日以降の請求は随時発送となります。

送料は、送付資料に同封した支払方法に従って支払ってください。(支払いに際しては送料及び手数料が必要となります。)

電話により請求する場合、住所、名前の登録時には、ゆっくりと明瞭に吹き込んでください。登録された音声不明瞭な場合は、到着までに時間がかかる場合があります。

ウ 郵便局で請求する方法(10月から受付を開始します。)

郵便局(簡易郵便局を除く。)に置かれている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、近くのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申し込んでください。受付から1週間程度で資料が届きます。

なお、請求申込書は、所属する高等学校で入手できる場合もあります。

【ア～ウの請求方法についての問い合わせ】

テレメールカスタマーセンター

電話番号: 050-8601-0102 (IP 電話)

受付時間: 平日 9:30～18:00

エ モバっちょで請求する方法

次の URL にバーコード読取機能付携帯電話等でアクセスしてください。

<http://djcm-b.jp/pu-hiroshima/>



《注意事項》

「モバっちょ」では、資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒に支払うことができます。(郵便局等に払い込みに行く必要がありません。)

資料請求代金以外に、別途支払手数料等は必要ありません。(パケット通信料を除く。)

【ア及びエの請求方法についての問い合わせ】

大学情報センター株式会社モバっちょカスタマーセンター

電話番号: 050-3540-5005

受付時間: 平日 10:00～18:00

オ 本学に直接請求する方法

a 郵送で請求する場合

- ① 封筒の表面に、請求する学生募集要項等の種別を朱書してください。(例:「〇〇学生募集要項請求」、「〇〇学生募集要項及び大学案内請求」など)
- ② 封筒の裏面には、請求者の郵便番号、住所及び氏名を必ず記入してください。
- ③ 返信用封筒(大きさは「角形2号」(33.2cm×24.0cm)で、所定の郵送料分の切手((注)1を参照)を貼り、受取人の郵便番号、住所及び氏名を明記したものを同封してください。

(注) 1 請求する資料によって郵送料の額が異なります。請求に必要な郵送料の額は、本学ホームページ(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>)の入試情報のページで確認してください。

2 配布開始前に請求された場合は、予約受付とします。

3 返信用の封筒が同封されていない場合や郵送料が不足する場合には、送付できないことがあります。

【請求先】 〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号

公立大学法人県立広島大学 本部教学課入試担当 電話番号(082)251-9540

b 各キャンパスの窓口で直接請求する場合

一般選抜学生募集要項、推薦入試学生募集要項及び大学案内等は、本学各キャンパス教学課の窓口でも配布します。事前に配布時期を必ず確認の上、お越してください。

なお、受付時間は、月曜日から金曜日(祝日・休日を除く。)の午前8時30分から午後5時15分までです。

【問い合わせ先及び配布窓口】

キャンパス名	問い合わせ先及び配布窓口
広島キャンパス (大学本部)	県立広島大学 本部教学課入試担当 〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号 電話番号：(082)251-9540
庄原キャンパス	県立広島大学 庄原キャンパス事務部教学課 〒727-0023 庄原市七塚町562番地 電話番号：(0824)74-1700
三原キャンパス	県立広島大学 三原キャンパス事務部教学課 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話番号：(0848)60-1126

9 アドミッション・ポリシー(求める学生像)

本学は、基本理念や教育の特色を踏まえ、次のような学生を求めています。

大学のアドミッション・ポリシー

- 諸問題を多面的にとらえ柔軟に対応するために必要な、幅広い基礎学力を有する人
- 広い視野と豊かな感性に基づいた、論理的かつ創造的な思考ができる人
- 明確な目標を持って主体的に学び、自らの能力の向上を目指す人
- 豊かな人間性と責任感を持ち、他者と真摯に議論・対話し協力し合える社会性・協調性を有する人
- 志を持って地域社会や国際社会への貢献を目指す人

各学部・学科のアドミッション・ポリシー

人間文化学部	国際文化学科	(1) ひとつの地域を言語・社会・文化の視点から、複眼的に探求したいと考えている人 (2) 複数の地域にみられる言語・社会・文化を、相対的に探求したいと考えている人 (3) 異なる地域の文化と価値観を理解するための、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている人
	健康科学科	(1) 人体の仕組みと健康とのかかわりに興味を持っている人 (2) 食品・栄養と健康とのかかわりに興味を持っている人 (3) スポーツと健康とのかかわりに興味を持っている人 (4) 理科学実験が好きで探究心旺盛な人 (5) 管理栄養士等の「一次予防」にかかわる仕事に強い熱意を持っている人 (6) 食育にかかわる栄養教諭に強い熱意を持っている人
経営情報学部	経営学科	(1) 高等学校で英語、国語、社会、数学、理科に関して十分な基礎学力をもつ人 (2) 社会のしくみや企業の活動を理解することに意欲や関心を持つ人(社会科学に興味を持つ人) (3) 社会科学を学ぶことで自己を確立し、さまざまな事柄に対して自分の判断力を高めたいと考えている人 (4) 経営・経済・社会の専門知識を身につけて、それを生かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある人 (5) 経営・経済・社会の専門知識を身につけて、それを生かした職業につきたいと思っている人
	経営情報学科	(1) 高等学校で数学、英語、国語、理科、社会に関して十分な基礎学力をもつ人(特に数学が好きな人) (2) コンピュータの仕組みや情報セキュリティ、情報ネットワークなどの理解に意欲や関心を持つ人(情報学に興味を持つ人) (3) 基本情報技術者などの資格を取得し、社会で活躍したいと考えている人 (4) 情報の専門知識とスキルを身に付け、それを活かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある人 (5) 情報学の専門知識とスキルを身に付け、それを活かした職業に就きたいと思っている人
生命環境学部	生命科学科	(1) 生命科学に強い関心を持っている人 (2) 物事を主体的にとらえ行動する人 (3) 常に問題の所在を考え、解決策を主体的、自発的に探索できる人 (4) 自ら率先して計画を練って実験し、実証して考察することが好きな人 (5) 大学院に進学し、高度な能力と技術を身に付けようとする人
	環境科学科	(1) 環境科学に強い関心を持って学習し社会に貢献しようとする人 (2) 常に問題の所在を考え、解決策を主体的、自発的に模索できる人 (3) 自ら率先して計画を練って実験し、実証しようとする人が好きな人 (4) 大学院に進学し、高度な能力と技術を身に付けようとする人

(各学部・学科のアドミッション・ポリシー(求める学生像)の続き)

保健福祉学部	看護学科	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生命への尊厳を持ち人類愛に満ちた人間性豊かな人 (2) 科学的探究心と自ら学ぶ学習意欲のある創造性豊かな人 (3) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性のある人 (4) 生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を備えた人
	理学療法学科	<ul style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性を持ち年代に関わらずコミュニケーションのできる人 (2) 積極性と協調性を兼ね備え、チームで活動できる人 (3) 自ら学ぼうという学習意欲を持つ人 (4) 諸問題に臨機応変に対応できる人 (5) 保健医療福祉関係の仕事に対する強い熱意を持つ人
	作業療法学科	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人の作業と健康に高い関心を持つ人 (2) 多様な価値観を受け入れる柔軟性のある人 (3) 好奇心を持って自主的に学べる人 (4) 前向きに忍耐強く努力する人 (5) 論理的に思考し科学的に探求する人
	コミュニケーション障害学科	<ul style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーション障害や嚥下障害と、その基盤について深く学びたい人 (2) 自ら学び、広い分野の問題に柔軟に対応できる基礎学力を有する人 (3) 柔軟なコミュニケーション能力と、他者との協調性を備えている人 (4) コミュニケーション能力に障害を持つ人を理解し、保健・医療・福祉の向上に情熱を持つ人
	人間福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人間が社会生活を営む上で生じる様々な問題に対して好奇心を持って自主的に学べる人 (2) 問題の背景や要因について探求していこうという意欲のある人 (3) 他者との協調性を備えている人 (4) 柔軟なコミュニケーション能力のある人

《国際文化学科》

1 基本理念

社会が複雑さを増している現代にあつて、人類の平和と進歩に寄与するためには、さまざまな世界の文化を理解し、グローバルな視点をもって平等な立場から協力し合える人材が求められています。

国際文化学科では、地域文化に対する幅広い知識と洞察力を養い、既成概念にとらわれない柔軟な発想で、現代社会に対応できる問題解決能力と外国語運用能力を備えた人材育成を目指しています。

2 人材育成目標

自国の文化についての知識と敬愛の心を持ち、他国の文化、特に英米や東アジアの文化に対する理解を深め、人々の幸福と世界の平和のために行動する人材を育成します。

3 求める学生像

- (1) ひとつの地域を言語・社会・文化の視点から、複眼的に探求したいと考えている人
- (2) 複数の地域にみられる言語・社会・文化を、相対的に探求したいと考えている人
- (3) 異なる地域の文化と価値観を理解するための、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている人

4 入学者選抜の基本方針

4-1 選抜の基本方針

- (1) 知識・理解
高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力を備えているかどうかを重視します。特に、論理的な文章を読んで正確に理解する力、外国語運用能力、歴史・政治・経済・地理など、社会に対する深く幅広い理解を求めます。
- (2) 思考・判断
論理的に思考し、さまざまな観点から客観的な判断を下せる能力を備えていることを求めます。
- (3) 関心・意欲・態度
世界の文化、特に英米・東アジア・日本の文化に深い関心を持ち、それらの文化を真摯に理解しようと努力する態度をもっていることを求めます。
将来、大学で培った知識や見識をもとに、人々が幸福に暮らせる社会の構築と世界平和の実現に貢献する意志をもっていることを求めます。
- (4) 技能・表現
論理的に思考し、それを表現できる言語運用能力を備えていることを求めます。
知識をもとにした柔軟な発想力を備えていることを求めます。
他人の意見に謙虚に耳を傾け、生産的な議論の出来るコミュニケーション能力を備えていることを求めます。

4-2 選抜試験の趣旨と重視するポイント

【一般入試（前期）】

大学入試センター試験において、本学部・学科が指定した教科・科目を受験した者を対象として個別試験を行います。大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査等の得点の合計点で可否を判定します。合格最低点での同点者は合格とします。大学入試センター試験では、入学者選抜の基本方針の(1)を中心に、基礎学力を評価します。個別試験では、記述式の問題を課すことにより、(2)(4)などを合わせて評価します。

本学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を確認するため、「国語」の試験を課します。「国語」は「国語総合・現代文・古典」の範囲から出題し、点数化して評価します。

本学科で学ぶ上で必要な外国語運用能力を確認するため、「外国語」の試験を課します。「外国語」は「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」の範囲から出題し、点数化して評価します。

【一般入試（後期）】

大学入試センター試験において、本学部・学科が指定した教科・科目を受験した者を対象として個別試験を行います。大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別学力検査等の得点の合計点で可否を判定します。合格最低点での同点者は合格とします。大学入試センター試験では、入学者選抜の基本方針の(1)を中心に、基礎学力を評価します。個別試験では(2)(4)などを合わせて評価します。

本学科で学ぶ上で必要な思考力・独創性・記述力などを確認するため、「小論文」の試験を課します。「小論文」は、論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。

【推薦入試】

本学科で学ぶ上で必要な思考力・独創性・記述力などを確認するため、「小論文」の試験と「面接」を課します。「小論文」では入学者選抜の基本方針の(2)(4)を中心に評価し、「面接」では、入学者選抜の基本方針の(3)(4)を中心に評価し、調査書により(1)を確認します。

「小論文」は、論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。

「面接」では、国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。

【帰国生徒特別選抜】

大学入試センター試験を免除して、書類審査、現代日本語及び面接の結果を総合して選抜します。「現代日本語」は論文、評論等から出題し、国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。「面接」は国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。

【外国人留学生特別選抜】

大学入試センター試験を免除し、本学科が行う試験及び日本留学試験の結果(TOEFL又はTOEICの結果を含む)を総合して選抜します。本学科が行う試験は現代日本語及び面接です。「現代日本語」は論文、評論等から出題し、国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。「面接」は国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。

《健康科学科》

1 基本理念

少子高齢社会にあつて、「人間の健康の科学」を考究する学問の役割の重要性から、コメディカル分野の健康科学科では、健康増進をはじめとした「生活習慣病の予防」の観点から、生体科学、栄養科学、食品科学、健康スポーツ科学などについて、自然科学の分野だけでなく、社会科学的視点も含めた教育・研究を行います。

2 人材育成目標

本学科は、真に豊かで健康な人間生活の実現を目指し長寿社会におけるクオリティ・オブ・ライフの向上や、生涯にわたる健康の維持・増進と心身の調和的発達に、積極的に取り組む人材を育成します。

3 求める学生像

- (1) 人体の仕組みと健康とのかかわりに興味を持っている人
- (2) 食品・栄養と健康とのかかわりに興味を持っている人
- (3) スポーツと健康とのかかわりに興味を持っている人
- (4) 理科学実験が好きで探究心旺盛な人
- (5) 管理栄養士等の「一次予防」にかかわる仕事に強い熱意を持っている人
- (6) 食育にかかわる栄養教諭に強い熱意を持っている人

4 入学者選抜の基本方針

4-1 選抜の基本方針

- (1) 知識・理解
次のいずれかに該当することを求めます。
ア 高等学校で履修した国語、社会、数学、理科、外国語について、教科書レベルの知識を有し課題を解くことができる能力を備えていることを求めます。
イ 高等学校で履修した国語、社会、数学、理科、外国語について、教科書レベルの基礎的な知識を有し課題を解くことができる能力を備え、農業、家庭若しくは体育に関する専門的な知識を有していることを求めます。
- (2) 思考・判断
ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめる能力を備えていることを求めます。
- (3) 関心・意欲・態度
「人体の仕組みと健康」、「食品・栄養と健康」、「スポーツと健康」に関心を持ち、健康の維持・増進と心身の調和的発達の実現に、積極的に取り組む意欲を持っていることを求めます。
- (4) 技能・表現
健康科学に関する自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現する能力を備えていることを求めます。

4-2 選抜試験の趣旨と重視するポイント

選抜の基本方針から、健康科学科では、次のような選抜試験を行います。

[一般入試（前期日程）]

主として選抜の基本方針（1）のアを念頭に置いて、大学入試センター試験と個別学力検査等を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、広く基礎学力をはかるため5教科6科目を課しています。個別学力検査においては、化学Ⅰ及び生物Ⅰの範囲から教科書レベルの知識に関する記述的試験を課し、論理的思考力や理解力を評価します。

[一般選抜（後期日程）]

主として選抜の基本方針（1）のアを念頭に置いて、大学入試センター試験を課し、また、選抜の基本方針の（2）、（3）、（4）を念頭に置いて面接を行い、それらの結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、広く基礎学力をはかるため5教科6科目を課しています。面接においては、健康科学に対する関心・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科（化学Ⅰ又は生物Ⅰ）に関する教科書レベルの基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力について、その対応の仕方・表現や内容などから総合的に判断し、点数化して評価します。

[推薦入試]

選抜の基本方針の（1）を念頭に置いて、推薦入試では「県内高等学校等推薦」と「県内専門高等学校等推薦」があります。いずれについても、基本方針の（1）だけではなく、（2）、（3）、（4）にも該当することを確認するために、大学入試センター試験、書類検査及び面接を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、理科の基礎学力をはかるため化学Ⅰ及び生物Ⅰを課しています。面接においては、健康科学に対する関心・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科（化学Ⅰ又は生物Ⅰ）に関する教科書レベルの基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力について、その対応の仕方・表現や内容などから総合的に判断し、点数化して評価します。

[外国人留学生特別選抜]

選抜の基本方針の（1）～（4）に該当することを確認するために、面接において、志望理由に関する質問を行うとともに、健康科学に対する興味・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科に関する基礎的事項を題材として試問し、これらに対する応答能力・表現や内容を総合的に判断し、点数化して評価します。また、日本語留学試験の日本語及び理科（化学、生物）の結果（TOEFL又はTOEICの結果を含む。）を総合して選抜します。

《経営学科》

1 基本理念

企業や行政団体、NPOなどの組織とそれを取りまく環境との相互依存関係を究明し、また学問的に発展させて、その成果を実社会に活かすことを目的としています。

2 人材育成目標

- (1) 経営戦略・マーケティング、会計・ファイナンス、公共経営などに関する高度な専門知識を身につけた人材
- (2) 組織における人事、会計に関する高度な専門知識を身につけた人材
- (3) 地域活性化の意志を持ち、その担い手になりえる人材
- (4) 公認会計士、ファイナンシャルプランナー、税理士、中小企業診断士といった専門職をめざす人材
- (5) 地域社会や国際社会において自ら課題を発見し、解決する能力を身につけた人材

3 求める学生像

- (1) 高等学校で英語、国語、社会、数学、理科に関して十分な基礎学力をもつ学生
- (2) 社会のしくみや企業の活動を理解することに意欲や関心を持つ学生（社会科学に興味を持つ学生）
- (3) 社会科学を学ぶことで自己を確立し、さまざまな事柄に対して自分の判断力を高めたいと考えている学生
- (4) 経営・経済・社会の専門知識を身につけて、それを生かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある学生
- (5) 経営・経済・社会の専門知識を身につけて、それを生かした職業につきたいと思っている学生

4 入学者選抜の基本方針

経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（県内高等推薦、県内専門高等学校推薦、全国高等学校推薦）、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施し、求める学生像に従った人材を受け入れることをめざしています。

[一般入試（前期）]

高等学校の基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5教科6科目とし、個別学力検査では国語と外国語を課します。

[一般入試（後期）]

高等学校の基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5教科6科目とし、個別学力検査では外国語を課します。

[推薦入試]

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では経営学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力、文章力などをみます。面接では本学科進学のための目的意識、学習意欲、高等学校時の活動実績等を点数化して評価します。

[社会人特別選抜]

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では経営学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力、文章力などを点数化して評価します。面接では本学科進学のための目的意識、学習意欲、経済社会への知的好奇心等をみます。

[外国人留学生特別選抜]

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、日本留学試験（TOEFL 又は TOEIC の結果を含む）ならびに本学で実施する試験、小論文、面接を総合して選考します。小論文では経営学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力、日本語による文章力などをみます。面接では本学科進学のための目的意識、学習意欲、高等学校時の活動実績、経済社会への知的好奇心、日本語理解力等を点数化して評価します。

《経営情報学科》

1 基本理念

企業や行政などの情報化や知識産業化に必要な情報学について、基礎から応用まで幅広い視点から学際的に分析し、また学問的に発展させることにより、豊かなデジタル社会の構築を目的としています。

2 人材育成目標

- (1) 企業や社会で、情報システムの企画・設計開発・運用管理の面において活躍したいと考える人（情報化推進者を目指す人）
- (2) 情報産業界において、それぞれ固有な問題を解決できる、情報システムを開発したいと考える人（情報処理技術者を目指す人）
- (3) 環境や社会に情報を活用することにより、エコ社会の実現に向け、環境に関する種々の問題を解決したいと考える人（エコ社会の実現に興味がある人）
- (4) 知的創造に関心を持ち、新しい産業やベンチャーの創出を推進したいと考える人（創造力のある人）

3 求める学生像

- (1) 高等学校で数学、英語、国語、理科、社会に関して十分な基礎学力をもつ学生（特に数学が好きな学生）
- (2) コンピュータの仕組みや情報セキュリティ、情報ネットワークなどの理解に意欲や関心を持つ学生（情報学に興味を持つ学生）
- (3) 基本情報技術者などの資格を取得し、社会で活躍したいと考えている学生
- (4) 情報の専門知識とスキルを身に付け、それを活かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある学生
- (5) 情報学の専門知識とスキルを身に付け、それを活かした職業に就きたいと思っている学生

4 入学者選抜の基本方針

経営情報学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（県内高等推薦、県内専門高等学校推薦、全国高等学校推薦）、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施し、求める学生像に従った人材を受け入れることをめざしています。

[一般入試（前期）]

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）及び個別学力検査（数学、外国語）により評価します。

[一般入試（後期）]

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）及び個別学力検査（数学）により評価します。特に、数学の得意な学生を選抜したいため、個別学力検査の配点を高くしています。

[推薦入試]

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力及び文章表現力などを点数化し総合的に評価します。また、面接では、志望動機・意欲、情報についての関心度などを点数化して評価します。

[社会人特別選抜]

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力及び文章表現力などを点数化し総合的に評価します。また、面接では、志望動機・意欲、情報についての関心度などを点数化して評価します。

[外国人留学生特別選抜]

本学で実施する小論文及び面接の得点と、日本留学試験の得点の合計点及びTOEFL又はTOEICのスコアを総合的に評価します。小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力及び文章表現力などを点数化し総合的に評価します。また、面接では、志望動機・意欲、情報についての関心度などを点数化して評価します。

《生命科学科》

1 基本理念

生命科学の学問体系はこれまでの分野ごとの縦割りから横断的、総合的な方向にシフトしています。また、先端的な技術の発展、新しい現象・原理の解明が進み、幅広い諸技術を融合させたバイオテクノロジー領域の発展がますます期待されています。生命科学科では、生命体の分子・細胞レベルから個体レベルまでの総合的な教育を行い、医療、健康、食糧などの問題解決につながる研究を通じ、「地域産業の再生と新規産業の創生」に寄与し、人類社会の福祉に貢献できる人材の育成を目指します。

2 人材育成目標

- (1) バイオサイエンスやライフサイエンス分野の基礎から専門にいたる教育、及び、生命体を持つ多種多様な機能の解明や応用に関わる研究活動を通して教育・研究の高度化を図り、成果を人類の生存に役立てる目的意識を持った人材を育成する。
- (2) 食品やその素材となる天然物を利用した資源開発や、それらの機能を高めた機能性食品までを包含する体系的な教育を行い、食品関連企業、医薬品関連産業分野などにも対応できる人材を育成する。

3 入学者受入方針

(1) 求める学生像

生物を愛し、生命現象や人体機能に関心を持ち、バイオテクノロジーの活用を通じて社会に貢献したいと考える次のような学生を求めている。

- ア 生命科学に強い関心を持っている人
- イ 物事を主体的にとらえ行動する人
- ウ 常に問題の所在を考え、解決策を主体的、自発的に探索できる人
- エ 自ら率先して計画を練って実験し、実証して考察することが好きな人
- オ 大学院に進学し、高度な能力と技術を身に付けようとする人

(2) 入学者選抜の基本方針

【一般入試(前期)】

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、かつ、課題を解くことができる。

【一般入試(後期)】

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、かつ、課題を解くことができる。特に理数系科目について関心・興味を有している。

【推薦入試】

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有する。さらに、教科書レベルの課題を解くことができるか、または、農業、工業などに関する専門的な知識技術を有する。特に、生命科学の諸現象や問題に関心・興味を有する。物事に対する洞察力を有し、自分の考えを論理的に説明できる。

【社会人特別選抜】

高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有する。生命科学の諸現象や問題に関心・興味を有する。物事に対する洞察力を有し、自分の考えを論理的に説明できる。

【帰国生徒特別選抜】

高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有する。生命科学の諸現象や問題に関心・興味を有する。物事に対する洞察力を有し、自分の考えを論理的に説明できる。

【外国人留学生特別選抜】

日本社会、文化に対する理解を有する。幅広い基礎学力を有する。生命科学の諸現象や問題に関心・興味を有する。物事に対する洞察力を有し、自分の考えを日本語で論理的に説明できる。

《環境科学科》

1 教育理念

地球が誕生して以来、微生物をはじめ多くの生物が関与して、人類が生息できる地球環境が誕生しました。そして現在、人類が地球環境に影響を及ぼしつつあります。我々の生活基盤である地球を守り、将来にわたって環境を維持していくことは我々の責務です。その責務を全うするために、地域および国際的に貢献できる積極的で創造性豊かな技術者・研究者を育成します。

2 人材育成目標

理工学技術を基本とする高度な環境科学の知識と健全な環境意識を持ち、技術的にはもちろん社会科学の素養も兼ね備えた環境科学技術者・研究者を育成します。

3 入学者受入方針

(1) 求める学生像

環境科学科では、次の様な学生を求めています。

- ア 環境科学に強い関心を持って学習し社会に貢献しようとする人
- イ 常に問題の所在を考え、解決策を主体的、自発的に模索できる人
- ウ 自ら率先して計画を練って実験し、実証しようとするのが好きな人
- エ 大学院に進学し、高度な能力と技術を身に付けようとする人

(2) 入学者選抜の基本方針

[一般入試]

高等学校で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している。
高等学校で履修した理科、数学と英語について課題を解くことができる。

[推薦入試]

高等学校で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している。
論理的な思考ができ、自分の考えを他者に解り易く伝える事ができる。

[社会人特別選抜]

社会生活を通して環境に関する強い問題意識を有している。
論理的な思考ができ、自分の考えを他者に解り易く伝える事ができる。

[帰国生徒特別選抜]

海外における生活を通して環境に関する強い問題意識を有している。
論理的な思考ができ、自分の考えを日本語で他者に解り易く伝える事ができる。

[外国人留学生特別選抜]

選択した理科と数学の科目について、我が国の高等学校で得られる基礎的な知識と同程度の学力を有している。
環境に関する強い問題意識を有している。
論理的な思考ができ、自分の考えを日本語で他者に伝える事ができる。

《看護学科》

1 基本理念

保健・医療・福祉の対象となる人々に全人的な対応ができ、看護の専門職業人として社会的責任を自覚しながら、高度な知識・技術・態度によって広く貢献する看護師、保健師を育成します。

また、他職種との連携において自ら進んで看護の役割を果たすことができ、生涯にわたり学習し成長し続ける資質を育てます。

2 人材育成目標

生命への尊厳をもって全人的に援助できる看護の専門性とあらゆる健康状態にある人々のニーズへの対応ができる知識と技術と態度をもった人材を育てます。

- (1) 臨床の看護実践に役立つ知識をもった看護師・保健師
- (2) 倫理的な配慮をしながら確実に看護技術を実践する力をもった看護師・保健師
- (3) 生命への尊厳をもって全人的に人と関わり、自ら進んで看護の役割を果たす看護師・保健師

3 求める学生像

- (1) 生命への尊厳を持ち人類愛に満ちた人間性豊かな人
- (2) 科学的探究心と自ら学ぶ学習意欲のある創造性豊かな人
- (3) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性のある人
- (4) 生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を備えた人

4 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試と推薦入試を実施し、求める学生像について多角的な視点から受験者の学力や資質を評価します。
- (2) 社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業生等を対象とした3年次編入学を実施しています。

[一般入試（前期日程・後期日程）]

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については5教科6科目を課しています。また、個別学力検査については、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

[推薦入試]

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を行います。小論文では、著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、評価します。面接では、保健、医療福祉を担う人材としての探求心、思考力、表現力などを総合的に判断し、評価します。

[社会人特別選抜]

社会人特別選抜では、社会人として職歴を3年以上有する志望者に対して、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を行います。小論文では、著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、評価します。面接では、保健、医療福祉を担う人材としての探求心、思考力、表現力などを総合的に判断し、評価します。

[第3年次編入学]

看護師の国家試験受験資格が取得できる短期大学の当該学科及び看護系専修学校の卒業生等に、大学入試センター試験を免除し、小論文と英語の筆記試験、口述試問および面接を行います。小論文では、著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、評価します。英語の筆記試験は、読解力や表現力などを総合的に判断し評価します。口述試問では、看護学に関する専門的知識について評価します。面接では、保健、医療福祉を担う人材としての探求心、思考力、表現力などを総合的に判断し、評価します。

《理学療法学科》

1 基本理念

多種多様な問題を抱えたクライアントに対して医療専門職としての誇りを持って、先端医療施設における最新治療から在宅療養における生活指導まで実践できる理学療法士を育成します。

2 人材育成目標

- (1) 理学療法の高度な専門知識と技術の習得はもとより、医療従事者としての豊かな人間性と教養を持った理学療法士。
- (2) 医療専門職としての役割と責任を理解し、チームの中でリーダーシップを発揮できる理学療法士。
- (3) 科学的思考力や探究心を持ち理学療法学分野において研究活動もできる理学療法士。

3 求める学生像

- (1) 豊かな人間性を持ち年代に関わらずコミュニケーションのできる人
- (2) 積極性と協調性を兼ね備え、チームで活動できる人
- (3) 自ら学ぼうという学習意欲を持つ人
- (4) 諸問題に臨機応変に対応できる人
- (5) 保健医療福祉関係の仕事に対する強い熱意を持つ人

4 入学者選抜の基本方針

4-1 選抜の基本方針

- (1) 知識・理解
高等学校の教育課程における基本的な学力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 思考・判断
論理的に思考し、客観的な判断を下せる能力を備えていることを求めます。
- (3) 関心・意欲・態度
医療およびリハビリテーション領域の情報に関心を持ち、それらの情報を理解しようと努力する態度をもっていることを求めます。
理学療法について生涯にわたり学習する意欲があることを求めます。
- (4) 技能・表現
建設的な議論が出来るコミュニケーション能力を備えていることを求めます。

4-2 選抜試験の趣旨と重視するポイント

[一般入試(前期・後期)]

広範囲にわたる基礎学力の修得度を評価するための大学入試センター試験と本学で学ぶ目的と意欲を評価するための面接試験により選抜します。

この選抜試験では、とくに基本方針(1)(4)を重視します。

[推薦入試]

広島県内各高等学校からの推薦者に対して、現役学生ならではの柔軟な発想と論理的思考を評価するための小論文と本学で学ぶ目的と意欲を評価するための面接試験により選抜します。

この選抜試験では、とくに基本方針(3)(4)を重視します。

[社会人特別選抜]

3年間の社会人経験を有する者に対して、社会人ならではの医療を中心とした社会問題への関心の高さと論理的思考を評価するための小論文と本学で学ぶ目的と意欲を評価するための面接試験により選抜します。

この選抜試験では、とくに基本方針(2)(4)を重視します。

《作業療法学科》

1 基本理念

作業を通じてその人にふさわしい生活を再建する作業療法士を育成します。身体や精神、発達などの障害があるクライアントを対象に、身辺処理、仕事、遊びなどあらゆる作業を通じて、心身機能の回復を図ったり、クライアントが望む生活を支援したりするための知識と技術を身に付け、チームを組み合わせながら保健、医療、福祉に貢献できる人材の育成をめざします。

2 人材育成目標

人の作業を科学的にとらえる目を養い、多種多様な個別ニーズに対し、関連領域の専門職と連携してよりの確なケアシステムを提供できる作業療法士を育成します。

3 求める学生像

- (1) 人の作業と健康に高い関心を持つ人
- (2) 多様な価値観を受け入れる柔軟性のある人
- (3) 好奇心を持って自主的に学べる人
- (4) 前向きに忍耐強く努力する人
- (5) 論理的に思考し科学的に探求する人

4 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等学校までに習得すべき学力を求めます。
- (2) 動作・態度に優れ、理解・表現力を求めます。
- (3) 作業療法を学ぶための資質・適性を求めます。
- (4) 在学中と卒業後において、学び続け行動する意欲・積極性を求めます。

[一般入試]

大学入試センター試験において、本学科が指定した教科・科目を受験した者を対象として個別面接試験を行います。大学入試センター試験の得点と、本学が行う個別面接試験の得点の合計点で合否を判定します。合格最低点での同点者は面接試験の得点の高い者を合格とします。大学入試センター試験では、入学者選抜の基本方針の(1)を中心に、基礎学力を評価します。個別面接試験では、質問に対する回答により、(2)(3)(4)を評価します。

[推薦入試]

本学が行う小論文試験と個別面接試験の得点の合計点で合否を判定します。合格最低点での同点者は面接試験の得点の高い者を合格とします。小論文試験では、入学者選抜の基本方針の(1)を中心に、基本的読解と論述能力を評価します。個別面接試験では、質問に対する回答により、(2)(3)(4)を評価します。

[社会人特別選抜]

社会人として特定の課題に取り組み、やり遂げた経験をもつ者を対象として本学が行う小論文試験と個別面接試験の得点の合計点で合否を判定します。合格最低点での同点者は面接試験の得点の高い者を合格とします。小論文試験では、入学者選抜の基本方針の(1)を中心に、基本的読解と論述能力を評価します。個別面接試験では、質問に対する回答により、(2)(3)(4)を評価します。

《コミュニケーション障害学科》

1 人材育成目標

- (1) 言語聴覚士として、先端的な医療チームの中で中心的な役割と責任を果たせる臨床的な技能・能力を持った人材を育成します。
- (2) 国家資格を得ることに加えて、学問的・社会的に高い目的意識を持って問題を解決していく研究能力と、豊かな教養を持った人材を育成します。
- (3) コミュニケーションや嚥下（飲み込み）障害に関する諸問題を科学的に捉え、幅広い関連分野の学問的発展を推進し貢献できる言語聴覚士を育成します。

2 入学者受入方針

(1) 基本理念

コミュニケーション能力は、最も高次な処理過程を必要とする認知機能の一つであり、その障害は、単に機能面だけでなく社会的な面にも及び、複雑かつ多様です。本学科では、コミュニケーション障害と、同じく複雑多様な障害である嚥下（飲み込み）障害に対応できる臨床能力を持ち、保健・医療・福祉・衛生領域を中心に関連分野で広く貢献できる言語聴覚士の育成を目指します。また、高度な専門的知識と技能に加えて、専門領域における諸問題を科学的に捉え、学問的発展を推進できる能力を持ち、豊かな教養と人間的魅力を有する人材の養成を目指します。

(2) 求める学生像

- ア コミュニケーション障害や嚥下障害と、その基盤について深く学びたい人
- イ 自ら学び、広い分野の問題に柔軟に対応できる基礎学力を有する人
- ウ 柔軟なコミュニケーション能力と、他者との協調性を備えている人
- エ コミュニケーション能力に障害を持つ人を理解し、保健・医療・福祉の向上に情熱を持つ人

(3) 入学者選抜の基本方針

- ア 知識・理解
高等学校で履修した教科・科目について教科書レベルの知識を有し、特に、文章を正確に読解する力、外国語運用能力、歴史や社会に対する柔軟で幅広い理解力を持つことを求めます。
- イ 思考・判断
著書、論文、評論、資料などを論理的に正しく読み解き、的確な判断や推理を下せる洞察力を備えていることを求めます。
- ウ 関心・意欲・態度
障害者、とりわけコミュニケーション障害や嚥下障害を持つ人々の福祉に強い関心を持ち、その生活の向上や改善に熱意を持ち、他の専門職と連携して障害の究明と対策に真摯に努力し、主体的に社会に貢献する意志を持っていることを求めます。
- エ 技能・表現
障害を持つ人々の悩みや苦しみに謙虚に共感でき、多用なニーズに対応できる実践力を持ち、豊かな発想力と確かなコミュニケーション能力を備えていることを求めます。

[一般入試（前期日程）]

「自ら学ぶ能力」の基盤となる基礎学力の把握のため、5教科6科目の大学入試センター試験を課すとともに、個別学力検査（小論文）では高等学校の基礎学力を前提とした課題に対する読解力、洞察力、理論的思考、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

また、勉学への意欲と専門分野への適性を把握するため、面接によって質問に対する理解力、判断力、表現力および対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

大学入試センター試験、小論文、面接の得点の合計点で可否を判断します。

[一般入試（後期日程）]

基礎学力の面で、前期日程とは異なる資質・能力を持つ学生を選抜するため、「自ら学ぶ能力」の基盤となる基礎学力の把握を、大学入試センター試験の3教科3科目で行います。

また、勉学への意欲と専門分野への適性を把握するため、面接試験において質問に対する理解力、判断力、表現力及び対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

大学入試センター試験、面接の得点の合計点で可否を判断します。

[推薦入試]

県内（7名）および県外（2名）の優秀で意欲のある高校卒業見込み者を早期に選抜します。

基礎学力を把握するため、小論文試験を課し、高等学校の基礎学力を前提とした課題に関する読解力、洞察力、理論的思考、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

また、本学進学のための目的意識、勉学への意欲、専門分野への適性を把握するため、面接で、勉学への意欲や堅実性などについて質問し、理解力、判断力、表現力および対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

小論文、面接の得点の合計点で可否を判断します。

[社会人特別選抜]

言語聴覚士への目的意識と勉学への意欲が高い社会人経験者（職歴通算3年以上、高等学校卒業程度以上）を若干名選抜します。

基礎学力を把握するため、小論文で課題に関する読解力、洞察力、理論的思考、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

また、本学進学のための目的意識、将来への展望、勉学への意欲、専門分野への適性を把握するため、面接で、出願書類を参考に、勉学への意欲と堅実性などについて質問し、理解力、判断力、表現力および対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

小論文、面接の得点の合計点で可否を判断します。

《人間福祉学科》

1 基本理念

保健・医療・福祉分野において、身体的・精神的・社会的援助を必要とする人々への包括的なケアシステムを先導していく高度な知識・技術と豊かな人間性を備えた人材を育成することを目指します。

2 人材育成目標

- (1) 基礎から応用にわたる専門分野の高度な知識・技術を身につけた人材を育成します。
- (2) ヘルスサポーターマインド（保健福祉の担い手としての態度・姿勢）を身につけた人材を育成します。
- (3) 地域包括ケアの担い手としてチームアプローチを実践できる人材を育成します。

3 求める学生像

- (1) 人間が社会生活を営む上で生じる様々な問題に対して好奇心を持って自主的に学べる人
- (2) 問題の背景や要因について探求していこうという意欲のある人
- (3) 他者との協調性を備えている人
- (4) 柔軟なコミュニケーション能力のある人

4 入学者選抜の基本方針

【一般入試（前期）】

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課しています。加えて、小論文試験では、読解力、洞察力、理論的思考力、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

また、勉学への意欲と専門分野への適性を把握するため、面接試験を課しています。面接試験では、質問に対する理解力、判断力、表現力および対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

【一般入試（後期）】

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課しています。加えて、小論文試験では、読解力、洞察力、理論的思考力、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

また、勉学への意欲と専門分野への適性を把握するため、面接試験を課しています。面接試験では、質問に対する理解力、判断力、表現力および対応の仕方や態度などを総合的に判断し点数化して評価します。

【推薦入試】

広島県内高等学校推薦 11 名及び広島県内専門高等学校等推薦 1 名を募集します。推薦者に対して、基礎学力を把握するため、小論文試験を実施します。小論文試験では、課題に対する読解力、洞察力、理論的思考力、文章表現力などを総合的に判断し点数化して評価します。

加えて、人間福祉学科志望の動機、勉学への意欲、専門分野への意欲と適正を把握するため、面接試験を実施し、理解力、判断力、表現力等を総合的に判断し点数化して評価します。小論文及び面接の得点の合計点で可否を判断します。

【外国人留学生特別選抜】

外国人留学生を若干名募集します。試験は、小論文及び面接です。可否の判定については、小論文及び面接の得点と、日本留学試験の得点の合計点及び TOEFL 又は TOEIC のスコアを総合的に審査し判定します。